

3月の定例会スケジュール

3/4	金	本会議（議案の上程）
10	木	本会議（一般質問）
11	金	本会議（一般質問）
14	月	本会議（一般質問）
15	火	本会議（議案質疑）
16	水	委員会
17	木	委員会
18	金	委員会
24	木	本会議（採決）

※3月定例会への請願・陳情の締め切りは2月24日(木)までです

※日程は変更となる場合があります。正式な日程は決まり次第、ホームページでお知らせいたします。

**政治家の寄付は禁止！
有権者が求めることも
禁止されています！**

公職選挙法により、市議会議員が選挙区内でお中元やお歳暮、ご祝儀を出すことは禁止されています。市民から求めることも禁止です。



編集

- 議会広報聴特別委員会
- 委員長 伊藤泰樹
 - 副委員長 森 和之
 - 委員 石部 誠
 - 委員 石田芳生
 - 委員 石井聡美
 - 委員 金尾恭士
 - 委員 新倉 淳
 - 委員 平松久幸



新 高梁人名録

しゅうぞう 故 森下修三氏

「盛秋」

毎年秋に、高梁市内の絵画愛好家グループ「ブロッサム」による作品展が高梁市成羽美術館で開催されます。令和3年は、10月上旬に亡くなられた森下修三先生への感謝を込めた作品展となりました。

森下氏は昭和14年、成羽町に生まれ、大学卒業後教職に就き、岡山県立総社南高等学校の開校に携わられたり、市内中学校長も歴任されました。退職後も後進の指導に携わる一方で、公益財団法人成羽町美術振興財団の監事、「児島虎次郎を偲ぶ絵画展」の審査員として貢献されました。

大学在学中に光風会展、日展に入選されたのをはじめとして、日展では入選19回、県展、県教職員展でも多数受賞されました。

退職された後は、同級生ら4人で始めた「グループ60 楽展」や絵画教室講師を通じて創作活動が続けられました。先述した「ブロッサム」の会員からは、「受賞を重ねて高齢になっても、地元的美術館や県内の展示会に精力的に出品され、誠実で気負わない姿が記憶に残っています」と伺いました。

森下氏は多くの作品を高梁市や市内企業に寄贈されており、各所で鑑賞することができず。また、氏が高梁市内名所や備中神楽を描いたスケッチはがきは、高梁市のお土産にもなっています。



「展示室」

今月の表紙

落合小学校児童
放水体験

3年生社会科単元

「町の安全を守る」消防署の見学

3年生32名が高梁市消防署を見学しました。児童は署員から各施設、消防車、救急車などの緊急車両の説明を受けた後、3人ずつ署員の指導のもと放水体験をしました。

見学後児童からは「防護服とヘルメットがずっしりと重かったです」「消防署の人たちは私たちの安全を守ってください」との感想がありました。

編集などの都合で原稿締切はどうしても1カ月以上前になってしまうので、この議会だよりが市民の皆さまに届く頃に、オミクロン株の感染状況がどのようになっているのか大変心配致しております。3学期が始まり、子ども達の声が教室に戻ってきたとのニュースの反面、各地でオミクロン株の感染が確認されたとの報道があり、爆発的感染者の増加で全国的に「まん延防止等重点措置」が適用となりました。まだまだウィズコロナの日々は続くことと思いますが、前向きな日常生活を送りたいものです。

（新倉 淳）